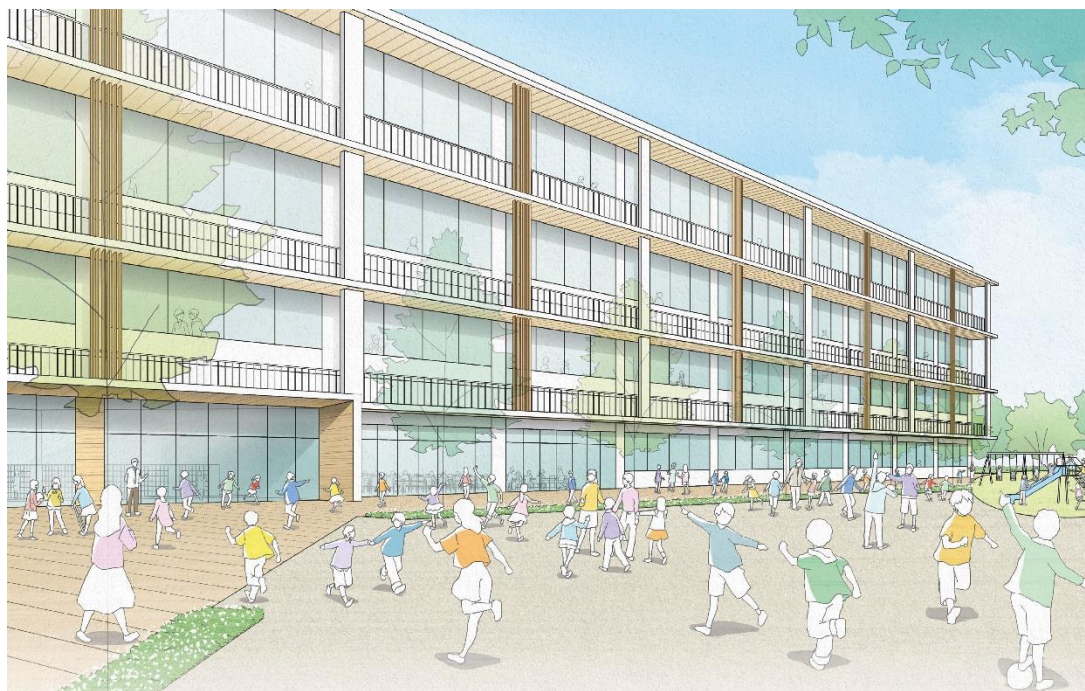


町田市南第一小学校地区 新たな学校づくり基本計画



2023年3月
町田市教育委員会

目次

第1章 町田市南第一小学校地区 新たな学校づくり基本計画の概要	1
1 計画策定の経緯	2
2 計画の位置付け	2
(1) 計画策定の趣旨	2
(2) 計画期間	3
3 計画の目標	3
(1) 望ましい学級数の実現	3
(2) 学校施設環境の整備	3
(3) 未来を見据えた教育環境の整備	3
(4) 特別支援教育の環境整備	5
(5) 学校を支えるチーム体制の構築	5
(6) 地域拠点となる学校づくりの実現	5
第2章 南第一小学校地区の現状と今後の想定	7
1 南第一小学校地区の新たな小学校の概要	8
(1) 児童数・学級数	8
(2) 新校舎建設のスケジュール	8
(3) 新たな通学区域	9
2 南第一小学校地区の新たな小学校の学校名	10
第3章 南第一小学校地区の新たな学校づくりに関する取組	11
1 施設整備	12
(1) 施設整備コンセプト	12
(2) 建設計画の策定及び基本計画との関係	13
(3) 仮校舎移転における児童への配慮	13
(4) 新校舎建設スケジュールと仮校舎建設・使用時期	13
2 通学関連	14
(1) 通学の安全対策	14
(2) 通学負担の軽減	16
3 学校運営協議会と地域学校協働活動	21
(1) 取組内容	21
(2) 取組スケジュール	21
4 引き継ぎたいもの・こと	23
(1) 取組内容	23
(2) 取組スケジュール	23
第4章 新たな学校づくりに関連した取組	24
1 引越し	25
(1) 取組内容	25
(2) 取組スケジュール	25
2 学校給食	26
(1) 取組内容	26
(2) 取組スケジュール	26

3	避難施設	27
(1)	取組方針	27
(2)	取組内容	27
(3)	その他の取組内容	27
(4)	取組スケジュール	28
4	学童保育クラブ	29
(1)	取組方針	29
(2)	取組内容	29
(3)	取組スケジュール	30
5	放課後子ども教室「まちとも」	31
(1)	取組内容	31
(2)	取組スケジュール	31
6	学校施設の活用	32
(1)	取組方針	32
(2)	取組内容	32
(3)	取組スケジュール	33
第5章	新たな学校づくり基本計画の今後の進め方	34
1	新たな学校づくり推進会の設置	35
(1)	推進会における検討・共有事項	35
(2)	委員構成	35
(3)	推進会設置期間	35

町田市南第一小学校地区 新たな学校づくり基本計画

第1章 町田市南第一小学校地区 新たな学校づくり基本計画の概要

- 1 計画策定の経緯
- 2 計画の位置付け
- 3 計画の目標



1 計画策定の経緯

2021年5月、町田市教育委員会は、町田市立学校を取り巻く環境変化に柔軟に対応しながら、町田に生まれ育つ未来の子どもたちが夢や志をもち、未来を切り拓くために必要な資質・能力を育むことができる環境を創出するため、「町田市新たな学校づくり推進計画」（以下「推進計画」という。）を策定しました。

推進計画は、市内の小・中学校における「学校施設整備の基本的な考え方」「適正規模・適正配置の基本的な考え方」「新たな通学区域」の3つの要素で構成され、これらに基づき、2021年度から2039年度にわたって、新たな学校づくりを推進することとしています。

この推進計画の趣旨を踏まえながら、南第一小学校地区における小学校の新たな学校づくりを推進するため、2022年5月、南第一小学校の保護者、地域の方、教職員の代表で構成する「南第一小学校地区新たな学校づくり基本計画検討会」（以下「検討会」という。）を設置し、同地区の新たな学校づくりに関する様々な課題について、全6回にわたって具体的な検討を行いました。

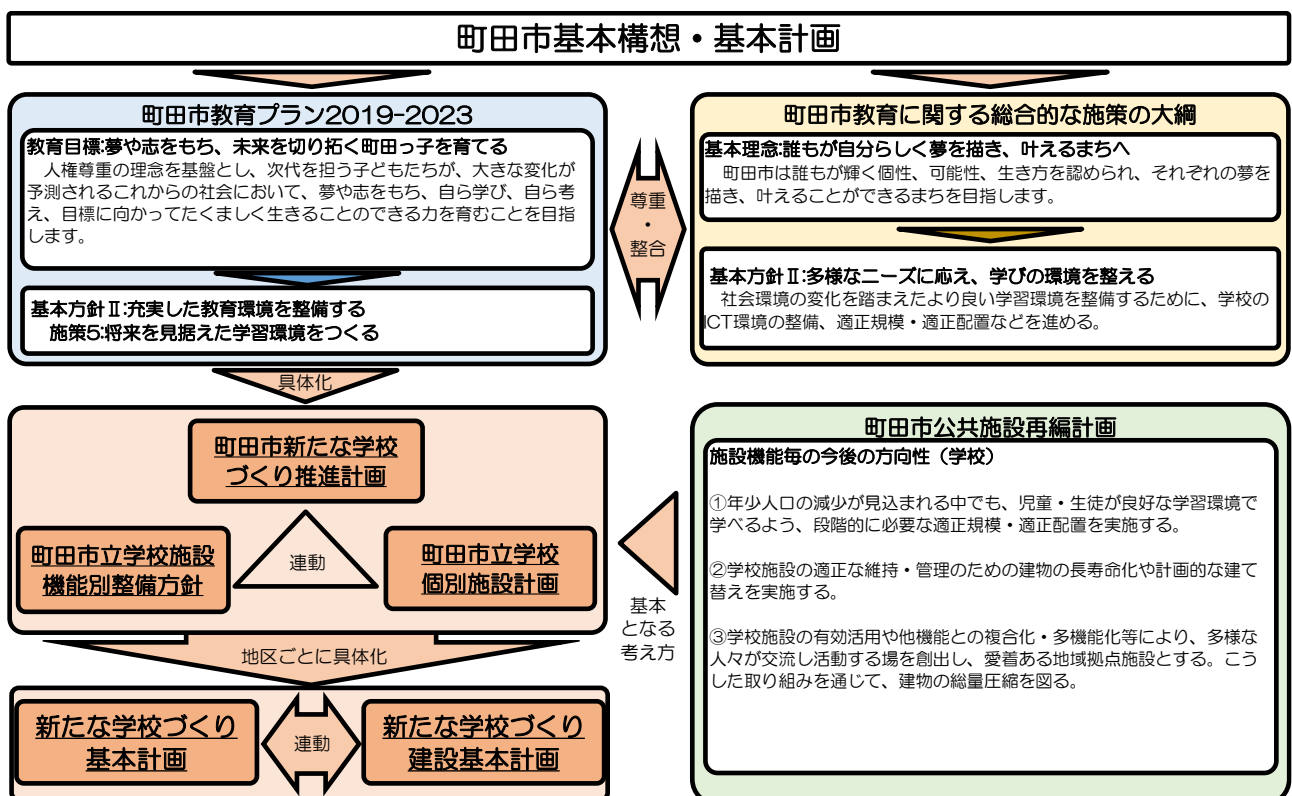
2023年1月には検討会における検討結果の報告を受け、引き続き、南第一小学校地区の新たな学校づくりに関する取組を着実に推進するため、「町田市南第一小学校地区 新たな学校づくり基本計画」（以下「基本計画」という。）を策定しました。

2 計画の位置付け

(1) 計画策定の趣旨

基本計画は、新校舎の開校に向けて、地区別に新たな学校づくりを具体的に進めるための計画として位置付けています。また、同時に策定する「町田市南第一小学校地区 新たな学校づくり建設基本計画」（以下「建設計画」という。）と連動して実行するものとします。

図1-2-1 計画関連図



(2) 計画期間

2023 年度～2029 年度（7 年間）

※新校舎の開校に向けた計画のため、2029 年度までを計画期間としています。

3 計画の目標

基本計画では、推進計画に定める 3 つの要素を踏まえつつ、南第一小学校地区の新たな学校づくりを着実に進め、町田市立学校を取り巻く環境変化に柔軟に対応できるよう、6 つの教育環境の実現を目標とします。

図 1-3-1 実現したい 6 つの教育環境



(1) 望ましい学級数の実現

児童の人間関係や多様な考え方に触れ、学び合い、切磋琢磨する機会の充実という観点から、小学校においては、望ましい学級数として 1 学年あたり 3 ～ 4 学級の実現を図ります。

(2) 学校施設環境の整備

学校施設の老朽化への対応は喫緊の課題であるため、将来にわたって子どもたちの学校における安全を確保し、安心して学校生活を送ることができる学校施設環境の整備を行います。

(3) 未来を見据えた教育環境の整備

2020 年度、小学校では外国語科が教科化されました。また、町田市教育委員会においても、ICT を活用した教育活動が推進するなど、教育内容や教育方法は大きく変化しています。そのため、これから建設する新たな小学校においては、今後 80 年使用することを想定し、学校教育にかかる諸制度の改正や将来の予測が困難な状況においても柔軟に対応することができる教育環境の整備を行います。

図1-3-2 新たな学校イメージ オープンスペースを活用した児童の学校生活（授業中）

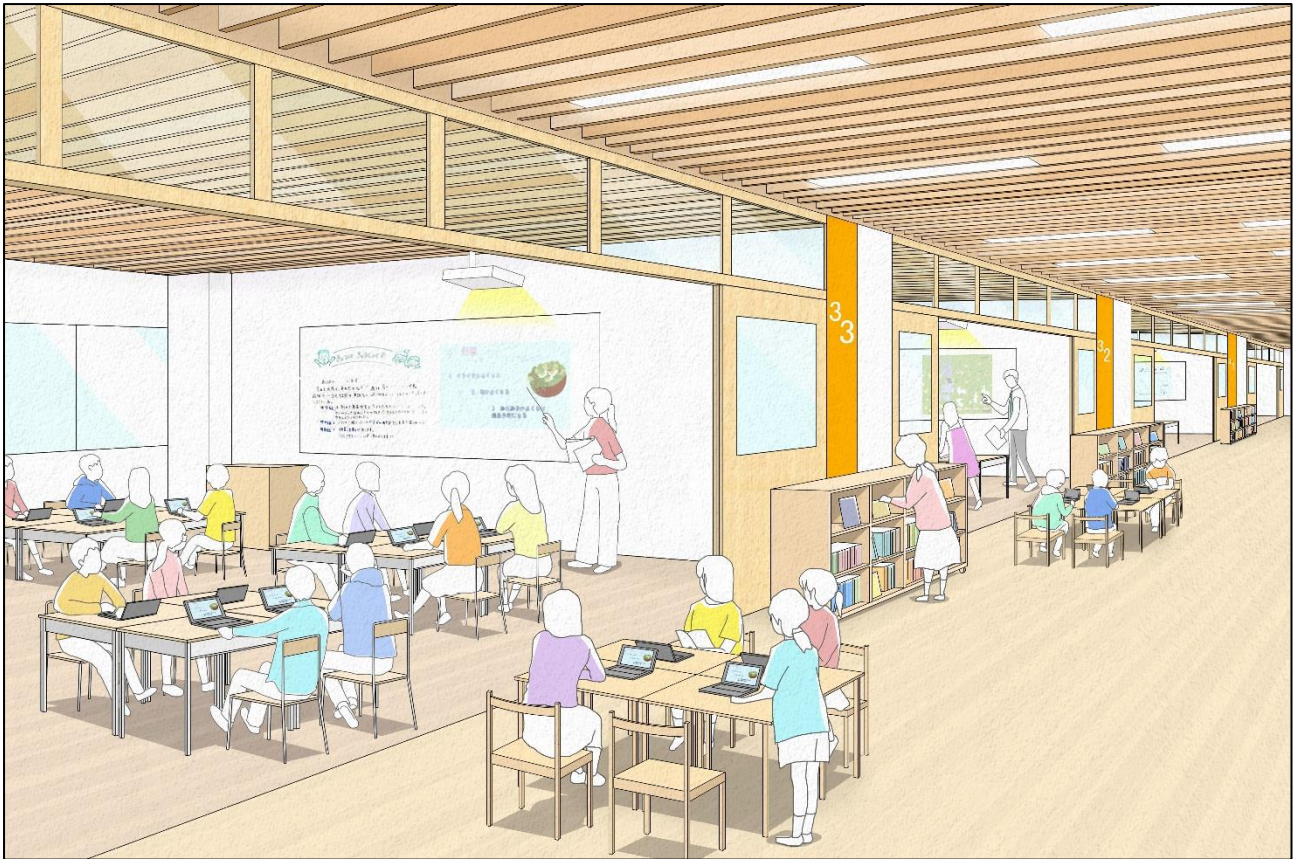
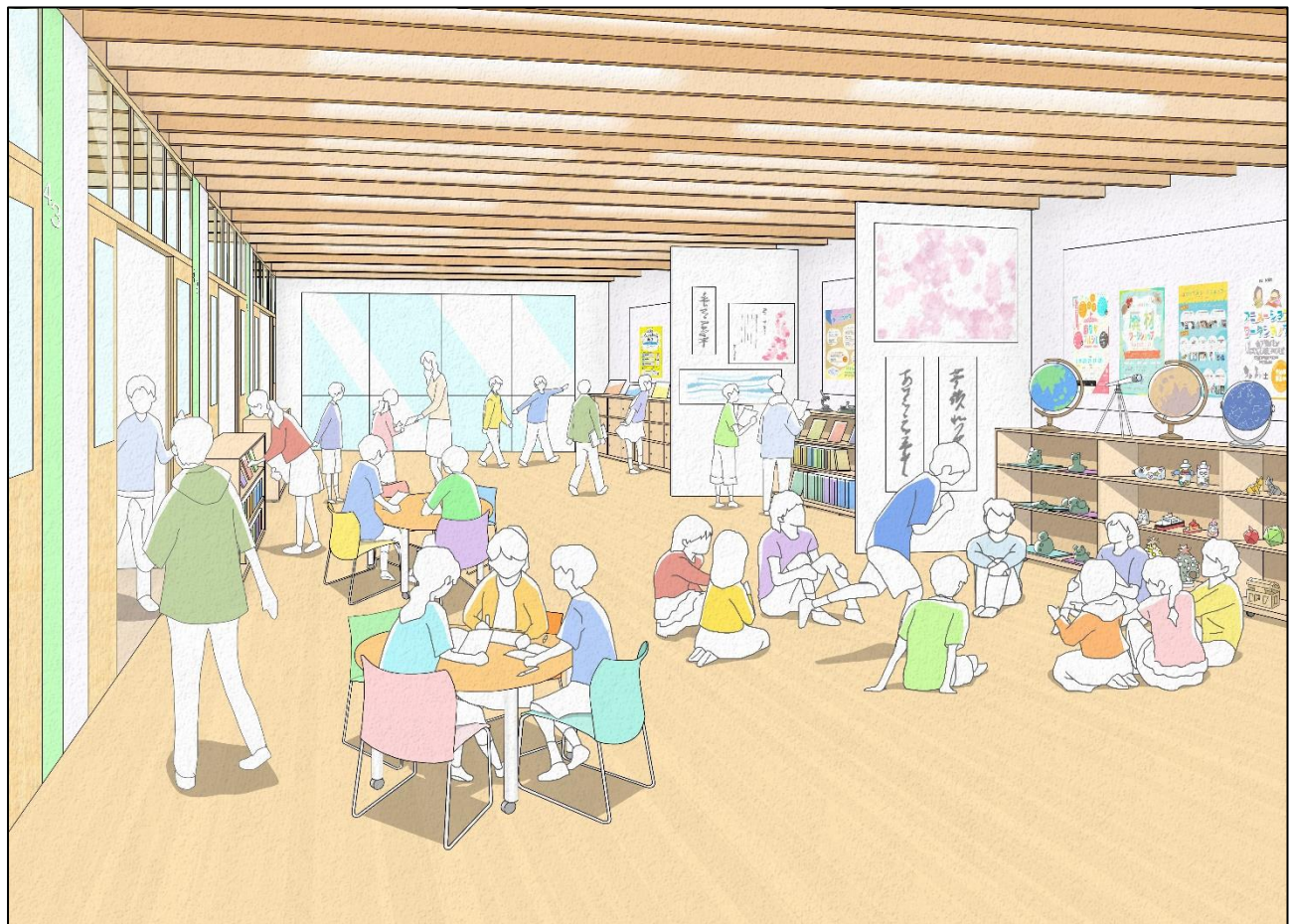


図1-3-3 新たな学校イメージ オープンスペースを活用した児童の学校生活（休み時間）



(4) 特別支援教育の環境整備

特別な支援を必要とする児童に対する教育環境について、教室の数や広さ、配置等に十分な配慮をすることができていない状況があります。これらの改善を図るとともに、学校施設の建替えを行う全ての小学校に、「知的障がい特別支援学級」「自閉症・情緒障がい特別支援学級」の設置及び必要な環境整備を行います。

(5) 学校を支えるチーム体制の構築

教員の多忙化が社会問題となっている中、教員以外の人材とチーム体制を構築して学校経営を行うことが求められています。しかし、現在の学校施設の多くは、設計時点においてこうした学校経営の必要性を想定した整備ができていないため、施設環境の整備を通してこれを改善することにより、学校を支えるチーム体制の構築を推進します。

(6) 地域拠点となる学校づくりの実現

町田市立学校は、地域活動やスポーツ活動、災害時の避難施設としても活用されています。

そのため、新たな学校は、多様な人々が学校に集い、教育活動への支援や放課後活動、地域の活動を通じて、市民が交流し活動する愛着ある地域の拠点とします。

さらに、民間の力を導入することで、学校でできることの幅を広げ、子どもだけではなく大人も集う学校づくりを実現します。

図1-3-4 新たな学校イメージ 特別支援学級の児童の学校生活（ブレイルームを活用した授業）

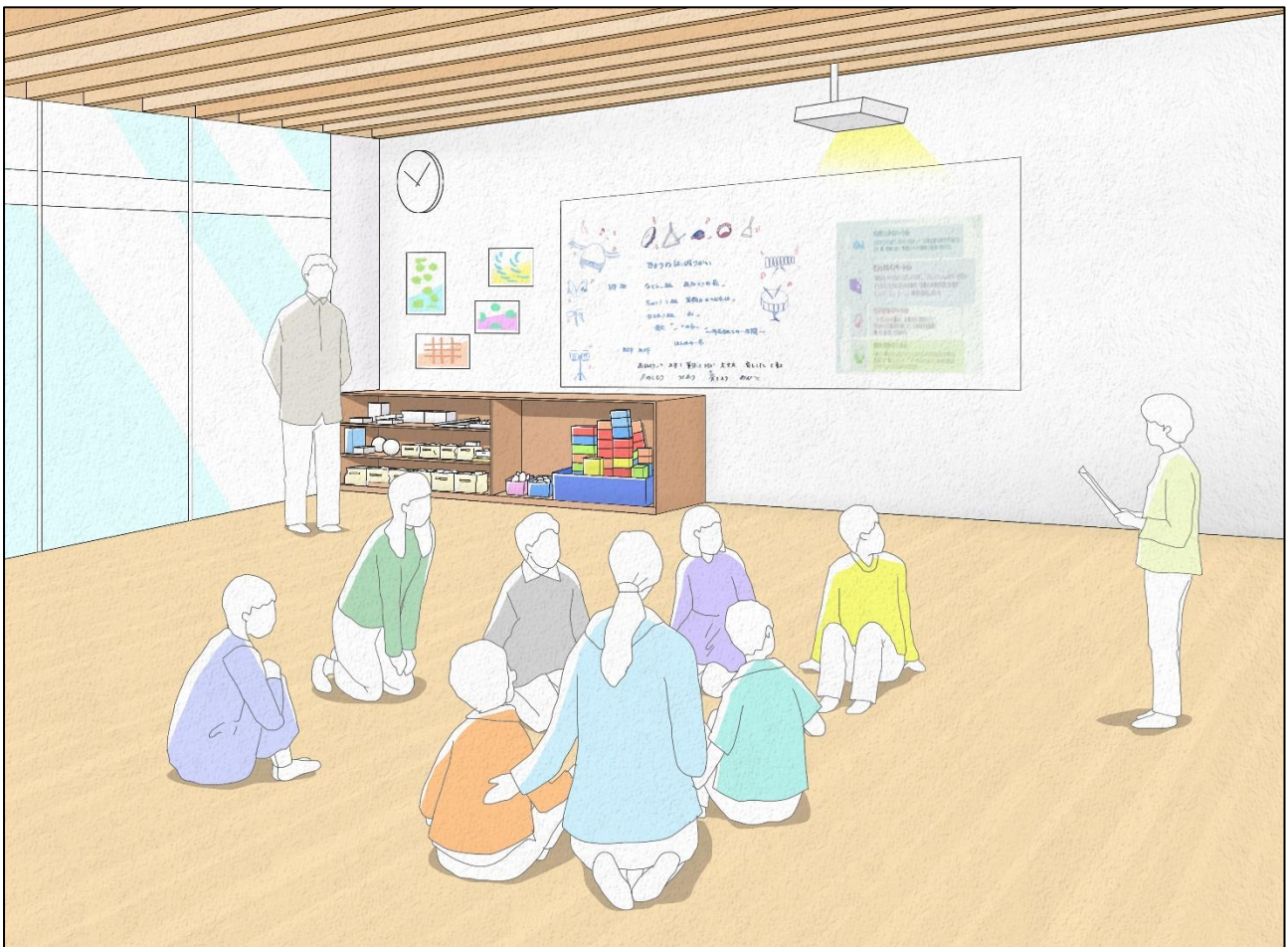


図1-3-5 新たな学校イメージ 地域とともに育つ学校（地域の活動拠点としての学校）

